

## 今週のメニュー

■ [トピックス 1](#)

◇下水道展 2016 名古屋に出展しました

塩化ビニル管・継手協会

■ [トピックス 2](#)

◇「子ども霞が関見学デー」に出展（7月28日）

－VEC ブースではプラスチック重さ当て体験クイズを実施－

■ [編集後記](#)■ [トピックス 1](#)

◇下水道展 2016 名古屋に出展しました

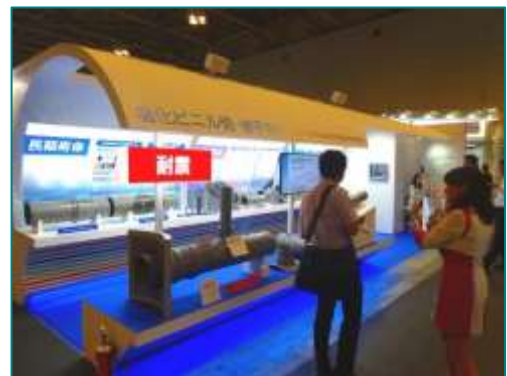
塩化ビニル管・継手協会

下水道展 2016 が、7月26日～29日にポートメッセなごやで「日本発！暮らしを支える底力」をテーマに開催されました。4日間で計35,400人の来場者があり、盛況の内に終了しました（主催：公益社団法人日本下水道協会）。

今回の下水道展は上記テーマの下に昨今防災意識が高まる中、都市部において急増しているゲリラ豪雨対策における雨水マスや雨水浸透マスなどの雨水対策システムや、耐震に対応した管路やシステム及び製品などが多く展示されていました。

一方で、昨今話題になっている下水道の老朽化とその更新方法として掘り返さず改修する非開削での管路の補修などインフラ整備についても多くの企業からの展示がありました。

塩化ビニル管・継手協会は「耐震・長寿命・リサイクル」をコンセプトとして、塩ビ管の断面をイメージした円形の天井を使用したブースで出展し来場者の目を引き付けていました。



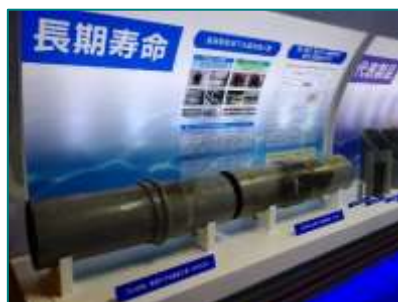
塩化ビニル管・継手協会ブース

耐震コーナーでは、塩ビ製可とうマンホール継手を使用した下水道本管及び伸縮継手を使用した取付け管の耐震配管モデルを展示しました。この耐震配管モデルには実際に手を触れて可動性を体感できるようにして、多くの方にその性能を実感いただきました。また、2つの耐震配管モデルの可動性についてのビデオも放映し、より詳しく耐震配管性能がご理解いただけるものとなりました。

また、長期寿命コーナーでは敷設後30年及び35年を経過した下水道用塩ビ管の掘上げ品を展示し、表層には変色があっても、管としての性能は何十年と使用された後でもほとんど劣化しないことを説明し、塩ビ管の耐久性をアピールしました。

リサイクルコーナーでは、使用済みの埋設管が回収され、リサイクル受入場に持ち込まれ、破碎され再びリサイクル三層管として生まれ変わる様子を、持ち込まれた使用済み塩

ビ管やリサイクル塩ビ管の原料となる粉碎品を展示するなどして、リサイクルの流れに沿って紹介しました。塩ビ管がこれほど長寿命で、リサイクルされて同じ用途の製品に生まれ変わることを説明すると皆さん一様に驚かれます。



塩化ビニル管・継手協会展示「耐震」「長期寿命」「リサイクル」

最近の防災関連用品を含め社会活動や生活の基礎を担うインフラ用途できわめて長い期間にわたり、耐震性や、耐久性、非常時対応も求められる下水道において、塩ビ製品は引き続き大きな役割を担っていくことが期待されます。

## ■トピックス 2

### ◇「子ども霞が関見学デー」に出展（7月28日） －VECブースではプラスチック重さ当て体験クイズを実施－

塩ビ工業・環境協会では、昨年から文部科学省の「土曜学習応援団」に参加し、プラスチックの出前授業を実施しています。その活動の一環として、26府庁省が例年開催している「子ども霞が関見学デー」に参加し、小学校低学年向けにプラスチックの特徴や製品、リサイクルに対する理解を図るため、パネル展示を行いました。



土曜学習応援団のフロア

文部科学省1階フロアに設けられた「土曜学習応援団」用の区画にブースを構え、各種プラスチックの種類とその製品の紹介、リサイクルについて説明し、最後にプラスチックの重さ当て体験クイズを実施しました。



VECブース

PVC、PP、PE、PTFE、PET、アクリルの直径5cm×長さ10cmのブロックを準備し、最初にこの塊からPVCではパイプとかホースができると説明した後で、これらのブロックの重さを軽い順に並べていただきました。しかし、例えばPPとPE、PVCとPETはどちらも10g程度しか違わないため子供たちにとって難しいものと考え、わからない場合に備え、台秤を用意し最終的に当てていただくようにしました。ところが、子供たちはプラスチックを手に取り、「これはあれより重たい・軽い」と言い

ながら順番を次々と見事に当てて並べて行き、その様子はこちらの心配はどこ吹く風で、驚くばかりでした。子供の方が大人より小さな重さの違いがよくわかるのでしょうか、一緒に来られた保護者の方々は、「この差は分からない!」という方が多いようでした。



「プラスチック重さ当て体験クイズ」に  
挑戦中

この重さ当て体験クイズは好評で、もう一回挑戦したいと訪れる子供もおり、再度の正解に満足していました。用意した記念品の塩ビ製縄跳び 100 個、農ビリサイクル消しゴム 80 個、「サクラ」（2011 年 PVC アワード受賞作品）60 セットは全てなくなりました。

同じフロアでは、プラスチック循環利用協会も出展しており、ポリスチレンのカップからのペンダントづくりはとても好評で絶えず子供たちが訪れていました。

この見学デーには 2 日間で土曜学習応援団に賛同する 60 企業と団体が 40 の出前授業と 26 のパネル展示に出展、2 日間でのべ約 3,700 人の子供や保護者、自治体等の教育関係者が参加したとのことです。参加したお子さんからは、「家でできないことを体験できて楽しかった」、「学校の授業等ではできない実験に驚きました」といった声が聞かれ、保護者の方からは「普段見ることのできないことを体験できた」、「親の力ではどうにもならない知識と経験は大変貴重」といった感想がありました。

プラスチックは、実はとても身近なものであるため、今後とも子供たちに特徴や使用、リサイクルに興味を持っていただけるよう、こうした取り組みを進めて参ります。

## ■ 編集後記

「ソース顔」とか「しょうゆ顔」なんて一時期流行りましたよね。「ソース」が西洋風な彫りの深い顔立ちで、「しょうゆ」があっさりとした日本的な顔のことだそうです。はっきりとした定義はないのですが、女性に対しては使わないようですし、一般的な美系男子に対してしか用いられないようです。1988 年に流行語大賞を取り、当時は「マヨネーズ」、「ケチャップ」、「みそ」なんてのもあったそうです。

最近ネットサーフィン（死語）中に、「塩系男子」なる言葉が出回っていることを知りました。職業柄「塩」という言葉には、敏感に反応するようになりましたので、早速調べてみました。「塩系男子」の特長は、とにかくあっさりした顔立ちで、一重まぶたあるいは奥二重で、「しょうゆ」よりもさらに薄くなくてはならないようです。また、髭（髪ではない！）が薄くて色白なお肌も必須のようです。だからといって、弱々しいのは NG で、手足のパーツはごっつくないといけないようです。

ま、テレビの中でしかお目にかかれそうにありませんが・・・。

「塩系樹脂＝塩ビ」 これは結構目につきます。

(JINJIN)

## ■ 関連リンク

- [メールマガジンバックナンバー](#)
- [メールマガジン登録](#)
- [メールマガジン解除](#)





◆編集責任者 事務局長 名原 克典

■東京都中央区新川 1-4-1

■TEL 03-3297-5601 ■FAX 03-3297-5783

■URL <http://www.vec.gr.jp> ■E-MAIL [info@vec.gr.jp](mailto:info@vec.gr.jp)

---

---